**◆所属長による振り返りシート　（提出不要）**

※本資料を用いて、個別指導の際に受講者とアドバイザーと共に振り返りを実施しますので、その際のメモ用紙としてご活用ください。**本シートは提出の必要はありません。**

**★実践研修を意義あるものにしていくために**

【1】公開保育に「視点」をもって参観をしてください。（下記１①～⑪を参照）

【2】研修テーマ等に沿って、協議で具体的な話し合いを展開しましょう。

【3】振り返りを可視化し、成果・課題（改善策）を明確にしていきましょう。

【4】今後、保育実践に生かそうとする保育者の姿を支えていきましょう。

**◆　下記の観点から振り返り、今後に向けて、成果と課題（改善点）を可視化してみましょう。**

**※達成度：４→大変よくできています、　３→できています、　２→改善点が少し見られます、　１→改善点が見られます**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 視　　点 | **達成度** | 達成度の理由（成果・改善点等） |
| 信頼関係 |  | 子どもは、安心して生き生きと活動している |  |  |
|  | 子どもの表情や言動などから、保育者は安心できる拠り所となっている |  |
| 乳幼児理解 |  | 子ども一人一人の特性を捉え、寄り添うことができている |  |
| 計画 |  | この頃の子どもの姿を捉えた指導計画（日案）が作成されている |  |
|  | 要領・指針を踏まえ、ねらいや内容は適切である（養護と教育、発達にあったもの） |  |
| 環境構成 |  | 子ども自ら関わりたくなるような環境構成である（遊具、用具、素材、場、時間等） |  |
|  | 子どもの興味・関心や育ちに応じて、遊具・用具・材料、場、数等が自由に選べる環境構成である |  |
|  | 遊びや生活の充実を図るために、必要に応じて環境を作りかえる場面がある（環境の再構成） |  |
| 援助 |  | 遊びの場面に応じて、一緒に遊び、モデルになったり遊びを提案したりするような援助が行われている |  |
|  | 遊びや生活の場面に応じて、子どもの気付きや考えを（言葉にして意味付けるなど）、大事にした援助が行われている |  |
|  | 安全で健康な生活をするための生活習慣を身に付けさせるような援助が行われている |  |
| 組織 |  | 研修の参加体制や役割分担等に配慮し、組織として園内研修を行うことができている |  |
|  | 記録や指導計画の作成、協議の場で、要領・指針の活用がされている |  |